

令和3年度 下水道維持管理業務取組み発表会

発表概要

所属
多々良川浄化センター
発表タイトル
夏場における電気室空調と反応槽水中攪拌機の省エネ運転について
取組の目的
<p>夏場の電気室内は高温となるためエアコンの連続運転の場合、多くの電力を消費する。電気室空調の運転方法の見直しや電気室屋上散水による熱負荷低減による省エネに取り組む。</p> <p>また、処理場における反応槽の水中攪拌機の電力消費量は送風機に次いで大きい。水中攪拌機の省エネ対策として系列の一部の水中攪拌機を停止する運転を試みる。</p>
取組内容
<p>エアコンによる冷房運転（連続運転）から給排気ファンのみの運転（間欠運転）、またはエアコンと給排気ファンの時間帯による切替運転へ変更した。</p> <p>電気室の熱負荷低減を目的として電気室屋上に散水スプリンクラーを設置した。</p> <p>反応槽水中攪拌機の部分停止による省エネ運転（嫌気－無酸素－好気－好気－無酸素－無酸素－好気－好気の内、嫌気槽または無酸素槽を週単位で停止）を実施した。</p>
取組成果・効果
<p>電気室空調の運転を見直すことで、省エネに繋がった。</p> <p>電気室屋上の散水スプリンクラーについては、将来用配管ルートを利用することで安価に施工できた。来年夏に省エネ効果を検証したい。</p> <p>反応槽水中攪拌機の部分停止では水質を低下させることなく、省エネ運転することが出来た。</p>